

特別支援だより

教育支援の手続きが始まります

学校生活の場において、下記のような“学びにくさ”や“つまずき”を抱え、困っているお子さんや、お子さんの発達に不安がある保護者はいませんか。そのニーズを把握して、適切な支援を受けさせることができます。毎日の学校生活をより楽しく充実したものにするための方法を一緒に考えるのが教育支援です。

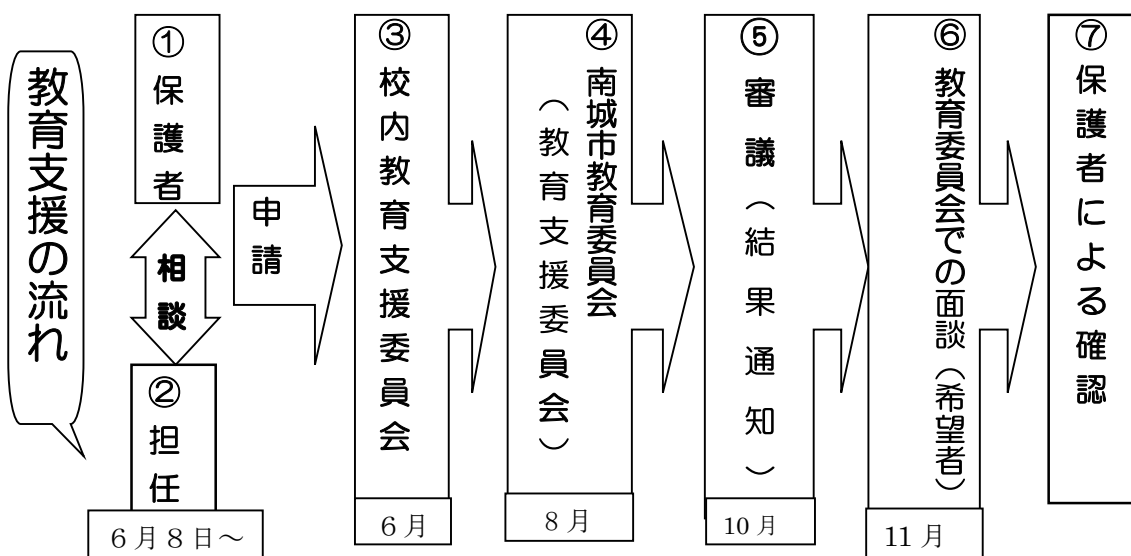


- ☆学力が思うように定着しない
- ☆極端に苦手な学習がある
- ☆気になることがあるとすぐ立ち歩く
- ☆ささいなことで怒る
- ☆興味があること以外は集中が難しい
- ☆人との交流が極端に苦手

※そこで、次年度に向けての教育支援として、困り感に寄り添い、個に応じた支援を進めるために学びの場（支援学級や通級指導教室）の検討を行うことができます。

※教育支援について相談したい方は**6月12日（金）**までに担任に申し出てください。

次年度に向けて学びの場の変更のチャンスは年1回です。対象は現1，2年生です。



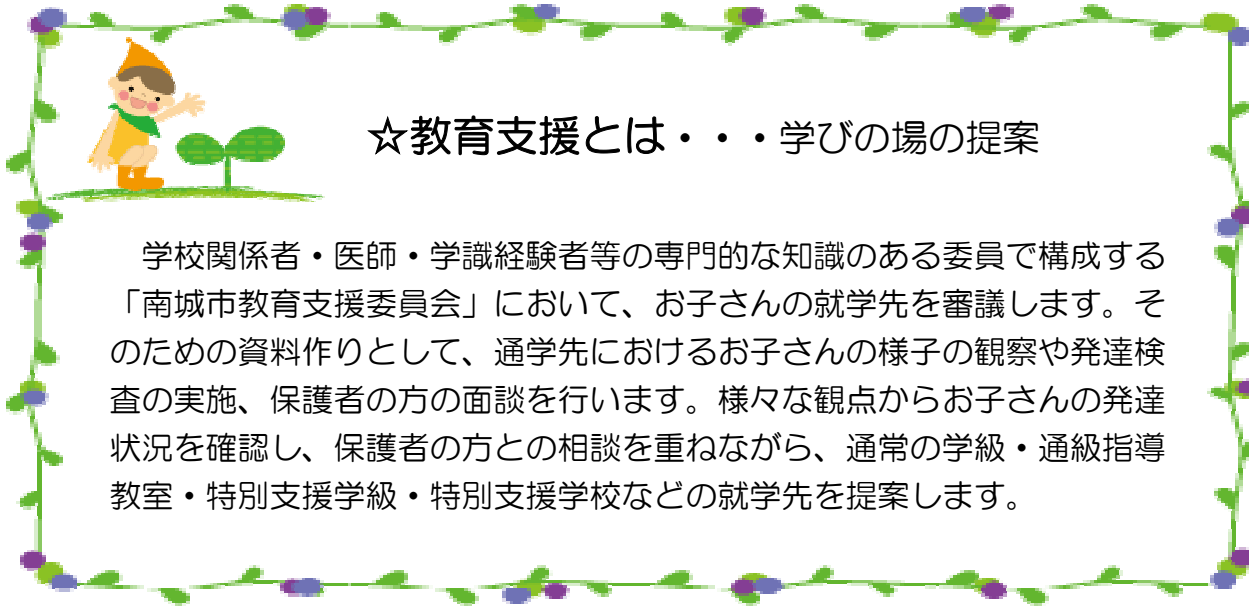
Q:『教育支援』ってどんなことするのですか？

A:保護者の了解を得て諸検査が行われます。「心理検査」「授業観察」「保護者面談」を行った上で、南城市教育支援委員会の専門の先生と相談し、指導方針と在籍を検討します。

まずは、お気軽にご相談ください

☆裏面に続きがあります。





☆教育支援とは・・・学びの場の提案

学校関係者・医師・学識経験者等の専門的な知識のある委員で構成する「南城市教育支援委員会」において、お子さんの就学先を審議します。そのための資料作りとして、通学先におけるお子さんの様子の観察や発達検査の実施、保護者の方の面談を行います。様々な観点からお子さんの発達状況を確認し、保護者の方との相談を重ねながら、通常の学級・通級指導教室・特別支援学級・特別支援学校などの就学先を提案します。



〈 就学先の特色 〉

- ☆通常の学級・・・大きな集団で学びます。一斉指導が中心となります。
必要に応じて週 1～2回、個別で学ぶ通級指導教室(情緒教室)を利用することもできます。
- ☆通級指導教室・・・通常学級に在籍をおきながら、必要に応じて個別に学ぶことができます。見る・聞く・考える・コミュニケーションスキルなど本人の困り感や苦手とすることについてトレーニングを行います。
- ☆特別支援学級・・・地域の学校内に設置されており、お子さんの教育的ニーズに応じて、個別の指導計画に沿って学習で交流学习をします。主に、国語・算数を個別または、少人数で指導します。
- ☆特別支援学校・・・ゆとりのある時間割が組まれている学校です。専門性が高く、個々に合わせたきめ細かい指導をしています。



玉城中学校では、6月に校内教育支援委員会を開き、就学申請の手続きを行います。書類の配布・記入がありますので、希望される保護者の方はできるだけ早めに、担任または特別支援コーディネーターまでご相談ください。

〈締め切り6月12日(金)〉

就学支援の内容をご理解いただき、お子さんが個に応じた支援のもと、学校生活が充実し、より成長できるように学校と家庭で連携をとりながら一緒に考えていきたいと思っております。

